

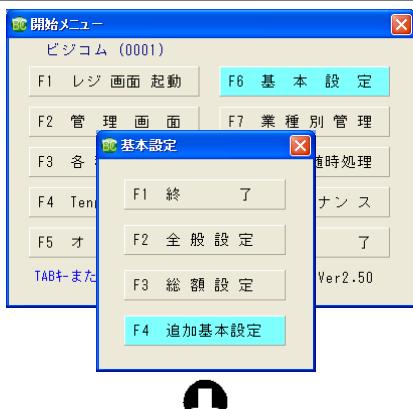
発注仕入機能

— 目 次 —

設定	1
発注画面の説明<上段部>	3
発注画面の説明<下段部>	4
商品の発注	5
商品検索画面と重複画面	6
発注の訂正	7
仕入画面の説明	8
商品の仕入<発注がある場合>	9
商品の仕入<発注がない場合>	10
仕入の返品	11
発注書・仕入返品伝票の印刷	12
各リストの印刷	13
ハンディターミナルからの取り込み	14
発注点切れリストのテキストから取り込み	17
取り込んだデータの発注	19

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

設定



- ① 開始メニューの「F6基本設定」→「F4追加基本設定」を選択。
- ② 追加基本設定の発注仕入設定1、2から設定を行います。
- ③ 設定を変更したら必ず「F10更新」を押してください。



発注仕入設定1

画面表示コード ／発注書の第2コード	発注仕入画面に表示するコードと発注書・仕入返品伝票の第2コードに印字されるコードを選択します。商品コード以外に設定し、そのコードに登録がない場合空欄で表示されます。 ※ バーコードを選択すると仕入画面伝票番号設定は使用できなくなります。
リストの第2コード	発注仕入リストに表示される第2コードを設定します ※ バーコードを選択すると仕入画面伝票番号設定は使用できなくなります。
発注使用金額	発注に使用する金額を設定します。
仕入使用金額	仕入に使用する金額を設定します。
単価入力設定	金額変更を行えるかの設定です。入力不可に設定した場合すべての画面で金額変更ができないになります。
仕入先チェック	商品マスタに登録されている主仕入先と発注画面で選択した仕入先が異なる場合、色を変更します。(発注画面のみ)
納入日表示	発注画面に納入日を表示するかしないかの設定。
納入場所表示	発注画面に納入場所を表示するかしないかの設定。
仕入画面伝票番号設定	表示…仕入時に発注番号とは別の伝票番号を入力することができます。 強制入力…仕入伝票番号入力を必ず行うようにするかどうかを設定します。 伝票番号桁数…仕入伝票番号の入力桁数を設定します。最大13桁まで。
DB削除条件	処理した日からここで設定した日数分遡って起動時にデータを削除します。 例: 120日に設定 8/1に発注や仕入をしたデータは11/30に削除されます。 発注仕入データは削除しない限り残り続けます。残しておくとデータが大きくなり動作が遅くなるなどの原因になります。

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

設定



発注仕入設定2	
発注書の第1コード	発注書・仕入返品伝票に印字する第1コードを設定します。 ※ バーコードを選択すると仕入画面伝票番号設定は使用できなくなります。
発注・発注訂正 仕入・仕入返品 レシート	各処理のときレシートを発行するかの設定。 枚数は1~3まで設定できます。
タイトル設定	発注書・仕入返品伝票のタイトルを設定します。半角50文字まで。
検印欄	表示…発注書・仕入返品伝票に検印欄を印刷するかしないかの設定。 検印欄1~5…検印欄のタイトルを設定。半角6文字まで。
発注書プレビュー機能使用	発注書を印刷する際、プレビュー画面を表示するかの設定。
ロゴ設定	発注書・仕入返品伝票にロゴを印刷します。 サイズは最大 幅7.1×高2.3cm(幅284×98ピクセル) これ以上大きくしても自動的に縮小して印刷されます。

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

発注画面の説明<上段部>

発注No. 0007 発注日 2008/08/28 納入期日 2008/08/29 2008年08月28日(木)

仕入先 納入場所

担当者

No	コード	商品名	在庫	発注残	数量	単価	合計金額
----	-----	-----	----	-----	----	----	------

発注No	発注番号(入力はできません)
発注日	発注日を入力します デフォルト当日を表示
納入期日	納入期日を入力します(納入日表示する場合のみ) デフォルト当日を表示
仕入先	仕入先を選択します ※事前に仕入先の登録が必要です コードを入力してエンターキーを押すか、そのままエンターを押すとリスト選択になるので、上下で選んでエンターを押すと次に移ります 仕入先 1 仕入先 A 担当者 No
納入場所	納入場所を選択します(納入場所表示する場合のみ) ※事前に店舗登録が必要です 選択方法は仕入先と同じ
担当者	担当者を選択します ※事前に担当者登録が必要です 選択方法は仕入先と同じ

No	行番号
コード	コードスキャン場所になります スキャンできるコードは商品コード・JAN・インストア・バーコード・型番1です 発注仕入設定1の画面表示コード／発注書の第2コードで設定したコードが表示されます 設定したコードがない場合は空欄で表示されます
商品名	呼び出した商品名
在庫	現在の在庫数
発注数	すべての発注Noよりそのコードを検索し、発注数－合計仕入数を引いたものを表示します
数量	発注数量入力欄(デフォルト1が表示されます) 入力できる数量は30000までです
単価	設定した商品の単価 入力できる単価は数量×単価で1億までです
合計金額	数量×単価を表示します

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

発注画面の説明<下段部>

JAN
インストア
バーコード
商品コード

型番
商品名サブ
対象金額

登録日
発売日
価格設定日

F1 終了 F7 仕入 F8 発注訂正 F9 印刷

Ver 2.00

単品詳細画面:読み込んだ商品にカーソルがあるとき、その商品の全コードや登録日などが表示されます
F11を押すか基本設定のメニューバーにある単品詳細フィールド表示を商品稼動に設定
することで稼動を表示することも可能です。

処理ボタン:カーソルの位置によって表示されるボタンが変わります

F1 終了 F3 行削除 F4 項目訂正 F6 商品検索 F7 仕入 F8 発注訂正 F9 印刷

F1終了	プログラムを終了	F7仕入	カーソルが発注日にあるときのみ表示 仕入画面に移ります
F3行削除	選択行を削除	F8発注訂正	カーソルが発注日にあるときのみ表示 発注訂正画面に移ります
F4項目訂正	明細を残したまま発注日に移り、 上段部の項目をやり直すことができます	F9印刷	カーソルが発注日にあるときのみ表示 伝票印刷画面が開きます
F6商品検索	商品検索画面が表示 ※P6を参照	F10実行	1つでも商品を呼び出している場合に表示 処理が実行されます
Esc	ボタンにはありませんが、キーボードのEsc(エスケープキー)を押すことにより全取消になります		

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

商品の発注

※日報ファイルがないと画面を開くことができないので、必ず先にレジ画面を起動させてください。

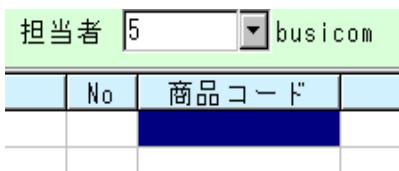
※商品の発注をする前に仕入先や担当者などを登録しておく必要があります。

①発注日、納入期日、仕入先、納入場所、担当者を決定してください。

仕入先、納入場所、担当者はコードを入力してエンターを押すか、そのままエンターを押すとリスト選択になるので、上下で選んでエンターを押すと次に移ります。



②上記を全て入力すると、商品コード欄が青く選択された状態になります。



③この状態でバーコードをスキャンするか、手入力するか、「F6商品検索」で検索できます。

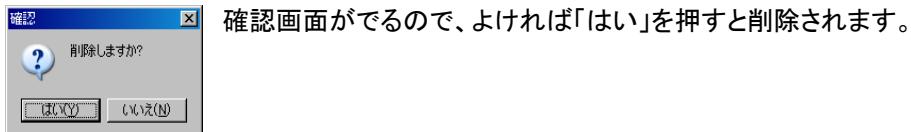
商品を呼び出すと各項目が表示され、数量にカーソルが移動します。発注する数量を入力しエンターを押してください。

※数量や単価を変更した場合は必ずエンターキーを押してください。矢印キーで動かすと合計金額が変更されません。

No	商品コード	第2コード	商品名	在庫	発注残	数量	単価	合計金額
1	200000011000	4901330572495	サンプル商品	17	0	1	100	100

※発注残はすべての発注Noよりそのコードを集計し、発注数－合計仕入数を引いたものを表示します

④間違った商品を呼び出してしまったら、その商品の行にカーソルを合わせて「F3行削除」を押します。



⑤仕入先や担当者の変更がある場合は「F4項目訂正」を押します。

呼び出した商品はそのままで、発注日からやり直しができます。

⑥すべてやり直す場合はキーボードのEsc(エスケープキー)を押してください。

処理を取り消し、発注日にカーソルがきます。起動時の状態と同じになります。

⑦発注する商品をすべて入力したら「F10実行」を押します。

レシートプリンターが接続されていて、印刷する設定になっている場合はレシートが発行されます。

画面下に発行伝票番号が表示されます。エンターを押さない限り表示は消えません。

※最大200明細処理できます

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

商品検索画面とコード重複画面

「F6商品検索」ボタンを押すと下記検索画面が表示されます。



検索画面上段部	
商品名	登録されている商品名で検索します
カナ	登録されている商品名カナで検索します デフォルトここにチェックが入っています
型番1	登録されている型番1で検索します
検索情報	ここに検索する文字を入力します
※検索は共通で先頭一致	
検索画面下段部	
F1中止	検索を中止し、検索画面を閉じます
F2入力	カーソルを検索情報に持って行きます
F3商品名	上段部のチェックがそれぞれ変更します
F4カナ	
F5型番	

バーコードをスキャンするかコードを手入力したときに、登録してあるコードが重複していた場合、下記画面が表示されます。
重複してあるコードは赤で表示されます。該当商品を上下で選択しエンターキーで決定します。



BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

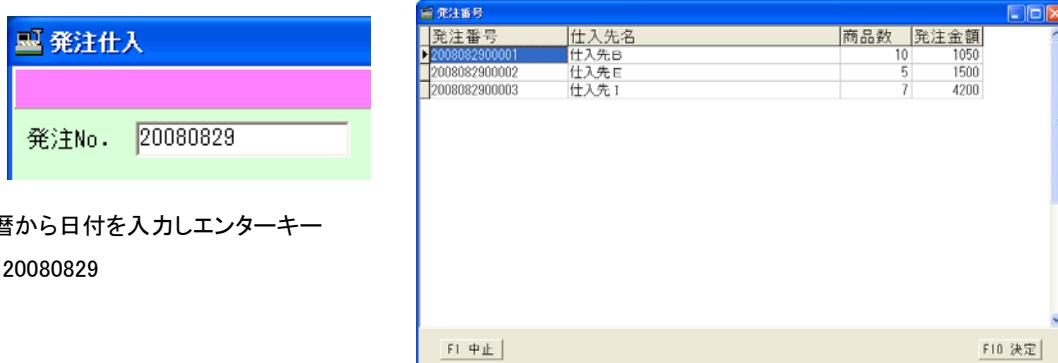
発注訂正画面の説明

※発注画面より「F8発注訂正」を押して訂正画面にします

追加発注はできません



発注No	発注番号を入力しエンターキーを押すと発注した明細が表示されます 8桁の日付を入力しエンターキーを押すとその日発注した一覧が表示され、その中から選択して画面表示が可能です
担当者	担当者を選択します



西暦から日付を入力しエンターキー

例:20080829

発注訂正のみ画面左に処理内容が表示されます

No	取消	F3かF4を押したときと数量を0にしたとき
	増	発注残より数量を増やしたとき
	減	発注残より数量を減らしたとき
	金変	単価のみ変更したとき

発注訂正画面で表示されるボタン			
F1終了	プログラムを終了します	F4一括取消	すべての商品の数量を0にします ※一括取消を押したあともう一度押しても元には戻りません Escを押してやり直すか、「F3行取消」を押すと選択してある商品のみ数量が戻ります
F3削除	選択されている商品の数量を0にします	F10実行	処理を実行します
ESC	画面上にはありませんが、キーボードのESC(エスケープキー)を押すことにより全取消になります		

発注の訂正

- ①発注Noを入力もしくは日付を入力しエンターキーを押します。
- ②日付入力した場合は仕入先から選択すると明細が表示され、次に担当者に移ります。担当者を決定してください。
- ③各処理を行います。最初は先頭の数量にカーソルがあります。
※数量や単価を変更した場合は必ずエンターキーを押してください。矢印キーで動かすと合計金額が変更されません。
- ④「F10実行」を押すと発注訂正処理が確定されます。レシートプリンターが接続されていれば、レシートが発行されます。
※仕入途中のものも取り消してしまうのでご注意ください。

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

仕入画面の説明

発注画面より「F7仕入」を押すことにより仕入画面になります

発注No	発注番号を入力しエンターキーを押すと発注した明細が表示されます 何も入力せずにエンターキーを押すと、発注とは関係なく仕入れができます その際自動で番号が入力され仕入先に移ります
仕入日	仕入日を入力します デフォルト当日を表示
仕入先	仕入先を選択します ※事前に仕入先の登録が必要です コードを入力してエンターを押すか、そのままエンターを押すとリスト選択になるので、 上下で選んでエンターを押すと次に移ります 
担当者	担当者を選択します ※事前に担当者登録が必要です 選択方法は仕入先と同じ
伝票番号	発注仕入設定1の仕入画面伝票番号設定が設定されている場合表示します 伝票番号を入力します この伝票番号は仕入リストのみに表示されます

仕入画面で表示されるボタン

F1終了	プログラムを終了します	F6商品検索	発注とは関係なく仕入れする場合のみ表示 商品検索画面が表示します
F3行削除	発注とは関係なく仕入れする場合のみ表示 選択行を削除します	F7発注	画面上段部にカーソルがある時のみ表示 発注画面に戻ります
F4一括入荷	発注Noを入力した場合のみ表示 すべての商品の発注残が数量に入ります	F8仕入返品	画面上段部にカーソルがある時のみ表示 仕入返品画面に移ります
F5入荷	発注Noを入力した場合のみ表示 選択行のみ発注残が数量に入ります	F10実行	1つでも商品を呼び出している場合に表示されます 押すと処理が実行されます
Esc	画面上にはありませんが、キーボードのEsc(エスケープキー)を押すことにより全取消になります		

商品の仕入<発注がある場合>

※発注画面より「F7仕入」を押して仕入画面にします

- ①発注No、仕入日、仕入先、担当者、伝票番号を決定してください。
- ②発注Noを決定した時点で発注した明細が表示されます。
- ③商品コード欄にカーソルがある状態でエンターキーを押すと数量に移ります。
- ④分納する場合は数量を手入力してエンターキーを押してください。次の商品の数量に移ります。

数量に1以上を入力するとその行がオレンジに変わります。

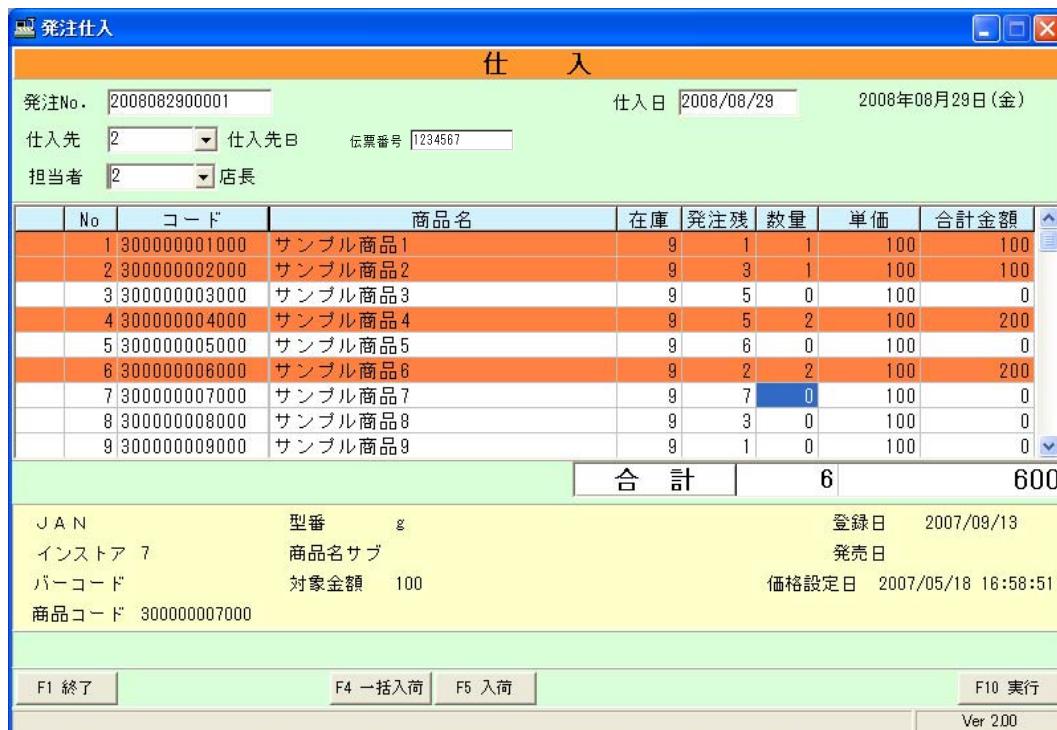
※数量や単価を変更した場合は必ずエンターキーを押してください。矢印キーで動かすと合計金額が変更されません。

- ⑤発注残をすべて仕入れする場合はその商品にカーソルを合わせ、「F5入荷」を押すと発注残が数量に入ります。
- ⑥発注したものすべて仕入れする場合は「F4一括入荷」を押します。

すべての商品の発注残が数量に入ります。

- ⑦「F10実行」を押すと、仕入処理が確定されます。

レシートプリンターが接続されていれば、レシートが発行されます。



※発注残は入力した発注Noの商品の発注数－合計仕入数を引いたものを表示します

同じ商品でも違う発注Noで発注したものは含みません

※数量が入っている状態(行がオレンジ)で「F5入荷」を押すと、数量が0になります

※一括入荷を押したあともう一度押しても取消にはなりません

取り消す場合は「F5入荷」を押すか、Escキーで最初からやり直してください

商品の仕入<発注がない場合>

※発注画面より「F7仕入」を押して仕入画面にします

- ①発注Noにカーソルがある状態でそのままエンターキーを押します。
 - ②自動で発注Noが入力され、仕入先に移ります。
 - ③仕入先、担当者、伝票番号を決定すると商品コード欄にカーソルが移動するので、コードをスキャンするか「F6商品検索」で商品を呼び出してください。呼び出した時点で行がオレンジになります。
 - ④仕入する数量を入力します。デフォルト1が入力されています。
- ※数量や単価を変更した場合は必ずエンターキーを押してください。矢印キーで動かすと合計金額が変更されません。
- ⑤仕入する商品を入力し終えたら、「F10実行」を押すと、仕入処理が確定されます。
レシートプリンターが接続されていれば、レシートが発行されます。
画面下に発行伝票番号が表示されます。エンターキーを押さない限り表示は消えません。

※発注残は関係ないので0が表示されます

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

仕入返品画面の説明

※発注画面より「F7仕入」を押し、「F8返品」を押して仕入返品画面にします

仕入先 担当者

仕入先を選択します
担当者を選択します

仕入返品画面で表示されるボタン			
F1終了	プログラムを終了します	F6商品検索	商品検索画面が表示します
F3行削除	選択行を削除します	F10実行	1つでも商品を呼び出している場合に表示されます 押すと処理が実行されます
Esc	ボタンにはありませんが、キーボードのEsc(エスケープキー)を押すことにより全取消になります		

仕入の返品方法

①仕入先、担当者を決定すると商品コード欄にカーソルが移動するので、コードをスキャナするか「F6商品検索」で商品を呼び出してください。

②返品する数量を入力します。デフォルト1が入力されています。

※数量や単価を変更した場合は必ずエンターキーを押してください。矢印キーで動かすと合計金額が変更されません。

③返品する商品を入力し終えたら、「F10実行」を押すと、仕入返品処理が確定されます。

レシートプリンターが接続されていれば、レシートが発行されます。

画面下に発行伝票番号が表示されます。エンターキーを押さない限り表示は消えません。

※伝票返品ではないので、発注残は変更されません。

No	コード	商品名	在庫	発注残	数量	単価	合計金額
1	200000011000	サンプル商品	77	0	1	100	-100
2	200000018000	Tシャツ	13	0	1	400	-400

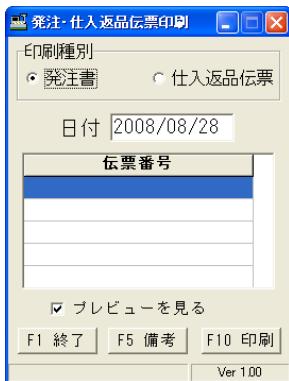
BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

発注書・仕入返品伝票の印刷

①発注画面でカーソルが発注日にある時のみ「F9印刷」ボタンがあるので押します。もしくは仕入返品画面にした時。

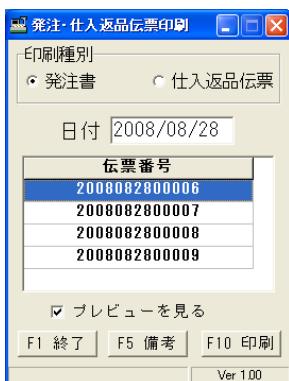
※ない場合はEscキーを押してください。

②下記画面が表示されます。印刷したいほうにチェックがついているのを確認し、エンターキーを押してください。



③日付にカーソルが移動するので印刷したい日付を決定し、エンターキーを押します。

④伝票番号が表示されるので印刷したい伝票番号を上下で選択し「F10印刷」を押します。



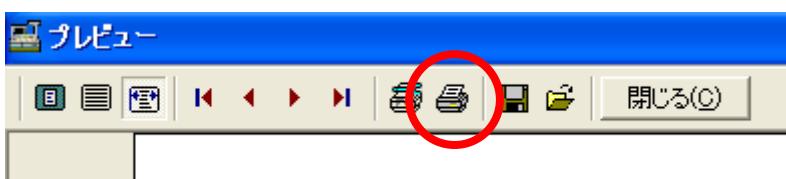
⑤プリンタ選択画面が表示されるので、印刷するプリンターを選択し「OK」を押します。

(そのままでよければエンターキーを押しても次に進みます)

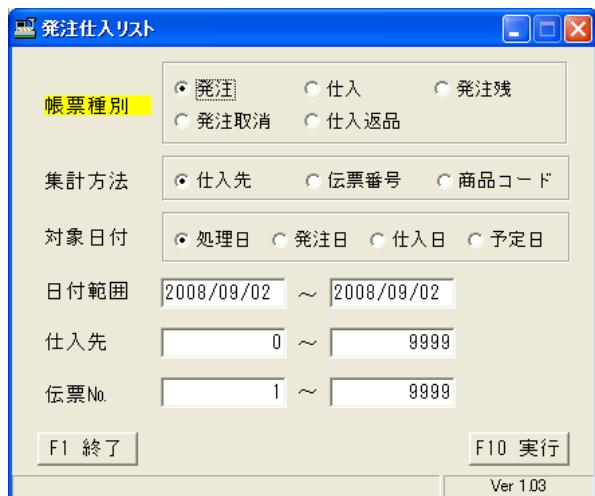


⑥「プレビューを見る」にチェックがある場合、プレビューが表示されるのでプレビュー画面左上の印刷ボタンを押して印刷します。

(複数ページある場合は、そのページごとに印刷ボタンを押さなくてはなりません)



各リストの印刷



①条件をすべて選んで「F10実行」を押します。

帳票種別		発注・発注取消・仕入・仕入返品・発注残
集計方法	仕入先	仕入先ごとの表示(印刷も仕入先ごとに分かれます)
	伝票番号	発注と仕入のみ選択可能
	商品コード	商品コードごとのリスト ※単価は金額÷数量で表示(切上固定)
対象日付	処理日	処理した日付
	発注日	発注画面で入力した発注日
	仕入日	仕入画面で入力した仕入日
	予定日	発注画面で入力した納入期日
日付範囲		対象日付で選択した日付範囲
仕入先		仕入先コード範囲
伝票No		伝票No13桁の最後の4桁
LAN環境の場合のみ以下の条件が画面に追加されます		
局No		局番の範囲指定

②プリンターがつながっていれば「F9印刷」で印刷できます。



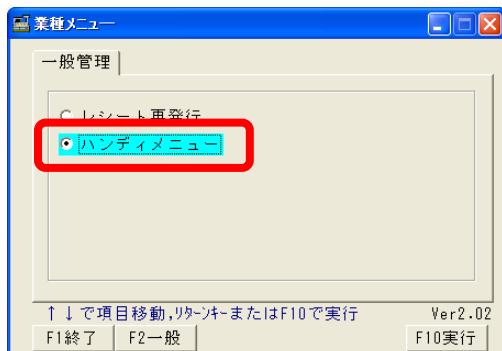
BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK

ハンディーターミナルからの取り込み

※ハンディーターミナルをお持ちであれば、発注のみ取り込むことが可能です。

ハンディーターミナルの業務選択で必ず「発注」を選択して読み取ってください。

ハンディで金額を入れる場合は、合計金額にせず必ず単価金額を入力してください。



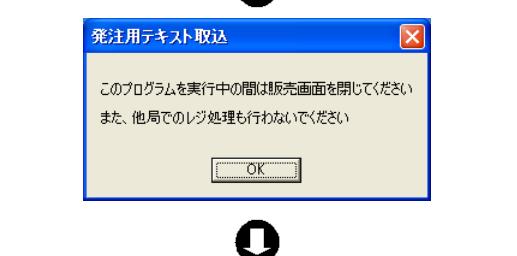
①開始メニューの「F7業種別管理」を選択。



②業種メニューの中の「ハンディメニュー」にチェックを入れて「F10実行」を押してください。

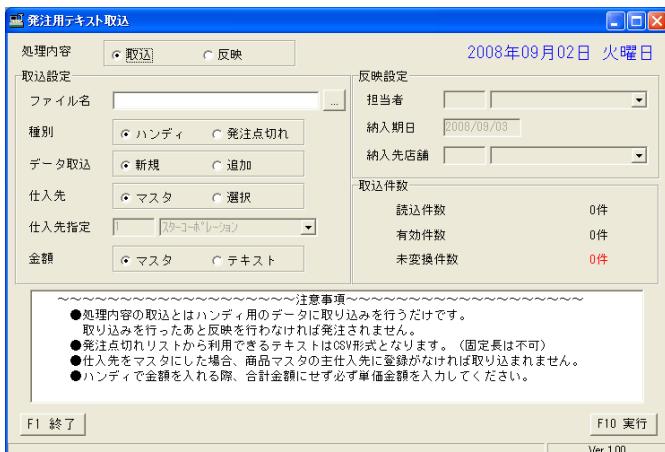
③「ハンディメニュー」画面が表示されるので「F4発注」を選択。
「HT→PC転送」を押し、ハンディで読み取ったデータをPCに転送してください。

④転送が終了したら「データ取込/反映」を選択します。



⑤メッセージが表示されます。レジ画面が終了していれば「OK」を押し、閉じていなければ閉じてから「OK」を押してください。
子機を使用している場合は子機も閉じてください。

⑥処理内容が「取込」になっていることを確認し、取込設定を指定します。



⑦種別が「ハンディ」になっていることを確認し、ファイル名右側にある [...] を押してください。



⑧「ファイルを開く」画面が表示されます。ハンディデータを選択してください。

ハンディデータは

「C:\BCPOS\DATA」に保存されています。CASIOだと「handy.dat」それ以外だと「hacchu.txt」で転送されています。

⑨新規のデータ取り込みの場合は
「データ取込」を「新規」として下さい。
一度データを取り込んでおり、更に
データの追加をしたい場合には「追加」
とします。

※ここで「追加」とすべきところを「新規」として実行してしまうと、それまでに取り込んだデータは削除されてしまいます！

⑩仕入先を「マスタ」か「選択」かを指定します。

「マスタ」を選んだ場合は商品マスタに登録されている主仕入先で発注を行います。主仕入先の登録がない商品は取り込まれません。

「選択」を選んだ場合は「仕入先指定」から仕入先を選択します。ハンディで読み取った全商品が指定した仕入先で発注します。

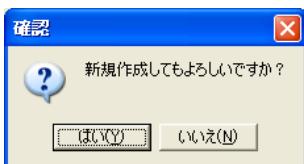
⑪金額を指定します。

「マスタ」を選んだ場合は商品マスタに登録されている金額を使用します。
(発注使用金額で設定した金額)

「テキスト」を選んだ場合はハンディで入力した金額を使用します。

※取り込む際に金額×数で計算して取り込むため、ハンディで金額を入力する場合は合計金額にせず必ず単価金額を入力してください。

BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK



仕入先 マスター 選択
仕入先指定 仕入先 A
金額 マスター テキスト

取込件数	
読み込み件数	47件
有効件数	44件
未変換件数	3件

"2008年09月16日13時57分"
 "未取込みデータ"
 "仕入先未登録","300000001000","4"
 "未登録コード","301000046000","4"
 "属性が対象外","300000047000","3"
 "未変換(該当商品無)","3件"
 "読み込み件数","47件"

F1 終了 F8 確認 F10 実行 Ver 1.00

⑫取込設定の指定が終了したら「F10実行」を押してください。データ取込の指定によって左記の確認メッセージが表示されます。よろしければ「はい」を押してください。

※発注用のデータに取り込むだけで発注はされません。

⑬画面右側の取込件数が動きます。

読み込み件数・・・ハンディで読み取ったデータ件数

有効件数・・・発注用のデータとして取り込まれた件数

未変換件数・・・取り込まれなかった件数

未変換に件数が表示された場合は画面下に理由が表示されます。

「F8確認」を押すことで取り込んだデータを確認できます。

取込用データ確認

仕入先	商品コード	商品名	単価	数量	合計金額	取込日
1	300000006000	サンプル商品6	100	7	700	2008/09/16
1	300000011000	サンプル商品11	200	10	2000	2008/09/16
1	300000016000	サンプル商品16	450	6	2700	2008/09/16
1	300000021000	サンプル商品21	700	1	700	2008/09/16
1	300000026000	サンプル商品26	850	7	6650	2008/09/16
1	300000031000	サンプル商品31	1200	3	3600	2008/09/16
1	300000036000	サンプル商品36	1450	5	7250	2008/09/16
1	300000041000	サンプル商品41	1700	11	18700	2008/09/16
2	300000002000	サンプル商品2	100	3	300	2008/09/16
2	300000007000	サンプル商品7	100	8	800	2008/09/16
2	300000012000	サンプル商品12	250	2	500	2008/09/16
2	300000017000	サンプル商品17	500	4	2000	2008/09/16
2	300000022000	サンプル商品22	750	25	18750	2008/09/16
2	300000027000	サンプル商品27	1000	9	9000	2008/09/16
2	300000032000	サンプル商品32	1250	4	5000	2008/09/16
2	300000037000	サンプル商品37	1500	5	7500	2008/09/16
2	300000042000	サンプル商品42	1750	1	1750	2008/09/16
3	300000003000	サンプル商品3	100	5	500	2008/09/16
3	300000008000	サンプル商品8	100	1	100	2008/09/16
3	300000013000	サンプル商品13	300	4	1200	2008/09/16

F1 戻る

発注点切れリストのテキストから取り込み

※在庫OPをご契約であれば、発注店切れリストのテキストからも取り込みが可能です。

この機能を利用するには商品登録画面で「自動発注」にチェックを入れ、発注点を登録しておく必要があります



①開始メニューの「F2管理画面」→
「F4在庫管理」にある「発注点切れ
リスト」を実行します。

②左記画面が表示します。条件を選択し
「F10実行」を押してください。

※条件指定は必ず「以下」で実行してく
ださい。

③リストが表示されます。「F3テキス
ト」を押してください。

JAN	型番1	型番2	登録日	仕先No	メーカNo	在庫	発注点	不足数
d			2007/09/13	4	4	4	5	-1
e			2007/09/13	5	5	3	5	-2
f			2007/09/13	1	6	3	5	-2
g			2007/09/13	2	7	3	5	-2
i			2007/09/13	4	9	3	5	-2
l			2007/09/13	2		1	5	-4
o			2007/09/13	5		4	5	-1
q			2007/09/13	2		1	5	-4
s			2007/09/13	4		2	5	-3
u			2007/09/13	1		4	5	-1
v			2007/09/13	3		3	5	-2
z			2007/09/13	1		4	5	-1
af			2007/09/13	2		1	5	-4
ak			2007/09/13	2		4	5	-1
al			2007/09/13	3		3	5	-2
am			2007/09/13	4		2	5	-3
an			2007/09/13	5		1	5	-4
ap			2007/09/13	2		4	5	-1
aq			2007/09/13	3		3	5	-2
ar			2007/09/13	4		2	5	-3

④テキストファイルに切り出す条件画面
が表示されます。ファイル形式は必ず
「CSV形式」にして切り出してください。

⑤開始メニューの「F7業種別管理」から
「ハンディメニュー」を実行してく
ださい。

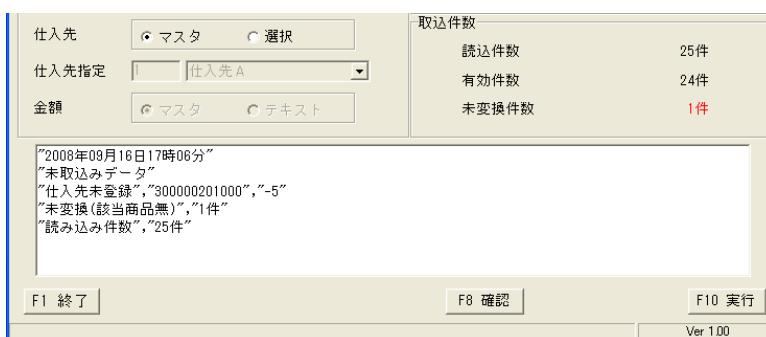
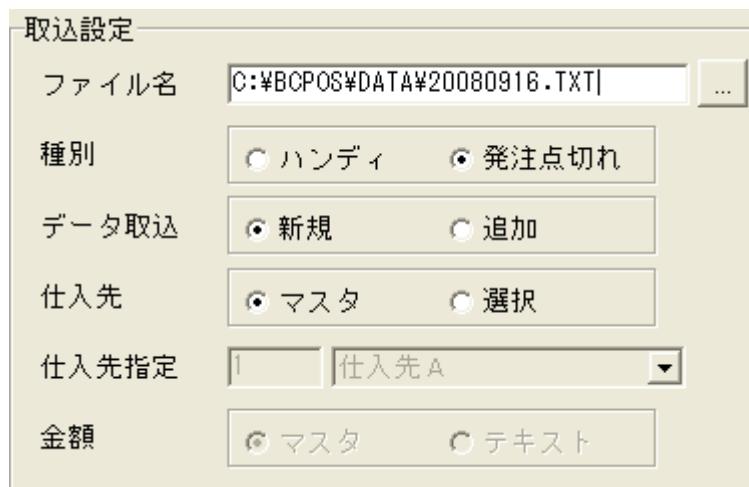
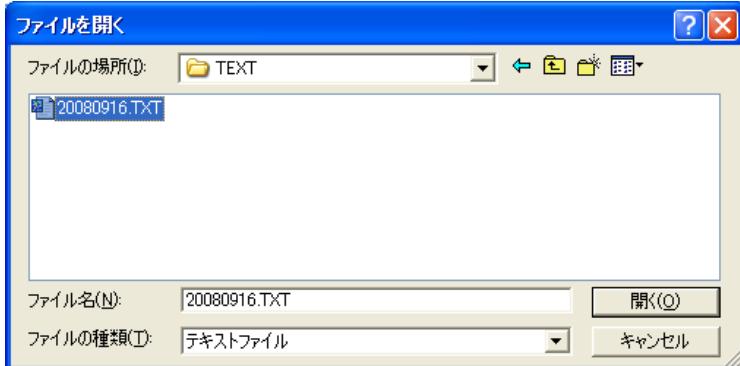
⑥「ハンディメニュー」画面が表示され
るので「F4発注」を選択し、「デー
タ取込/反映」を選択します。

⑦メッセージが表示されます。レジ画面
が終了していれば「OK」を押し、閉
じていなければ閉じてから「OK」を
押してください。
子機を使用している場合は子機も閉じ
てください。

⑧処理内容が「取込」になっていること
を確認し、取込設定を指定します。



BCPOS GRAPHICAL HANDBOOK



⑦種別が「発注点切れ」になっていることを確認し、ファイル名右側にある を押してください。

⑧「ファイルを開く」画面が表示されます。発注点切れリストのテキストを選択してください。
そのまま切り出したのであれば
「C:\BCPOS\TEXT」に切り出した日付で保存されています。

⑨新規のデータ取り込みの場合は
「データ取込」を「新規」として下さい。
一度データを取り込んであり、更に
データの追加をしたい場合には「追加」
とします。

※ここで「追加」とすべきところを「新規」として実行してしまうと、それまでに取り込んだデータは削除されてしまいます！

⑩仕入先を「マスタ」か「選択」かを指定します。
「マスタ」を選んだ場合は商品マスタに登録されている主仕入先で発注を行います。主仕入先の登録がない商品は取り込まれません。
「選択」を選んだ場合は「仕入先指定」から仕入先を選択します。ハンディで読み取った全商品が指定した仕入先で発注します。

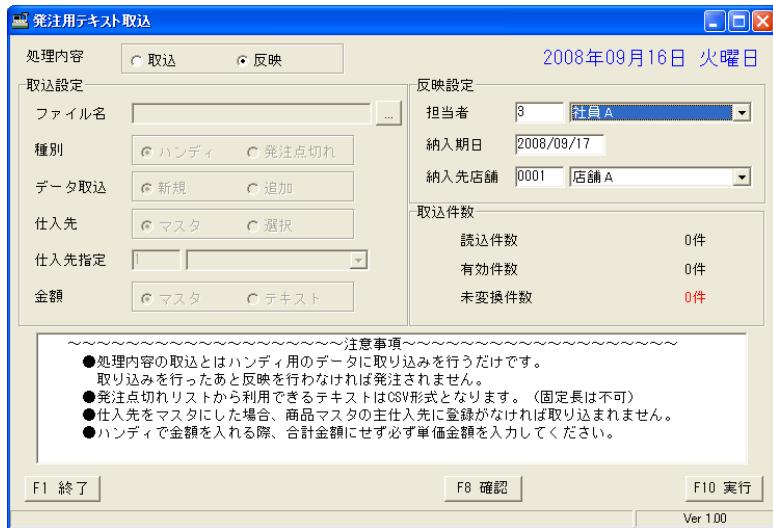
⑪取込設定の指定が終了したら「F10実行」を押してください。データ取込の指定によって左記の確認メッセージが表示されます。よろしければ「はい」を押してください。

※発注用のデータに取り込むだけで発注はされません。

⑫画面右側の取込件数が動きます。
読込件数・・・ハンディで読み取ったデータ件数
有効件数・・・発注用のデータとして取り込まれた件数
未変換件数・・・取り込まれなかった件数
未変換に件数が表示された場合は画面下に理由が表示されます。

「F8確認」を押すことで取り込んだデータを確認できます。

取り込んだデータの発注



①開始メニューの「F7業種別管理」から「ハンディメニュー」を実行してください。

②「ハンディメニュー」画面が表示されるので「F4発注」を選択し、「データ取込/反映」を選択します。

③メッセージが表示されます。レジ画面が終了していれば「OK」を押し、閉じていなければ閉じてから「OK」を押してください。

子機を使用している場合は子機も閉じてください。

④処理内容を「反映」にチェックします。

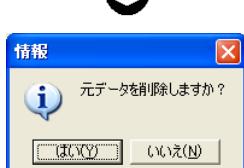
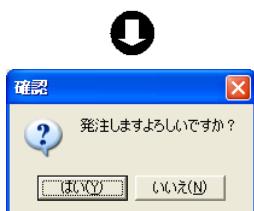
⑤担当者、納入期日、納入先店舗を指定して「F10実行」を押してください。

⑥確認が表示するので「はい」を押すと発注処理が始まり、読込件数・有効件数がカウントされます。

※起動時にも注意メッセージが出ましたが、反映中はレジ処理を絶対に行わないでください。

※商品登録数が多かったりLAN環境だと処理に時間がかかります。

⑦終了すると「データ反映終了」と表示され「OK」を押すと「元データを削除しますか?」と表示されます。取り込んだ発注用のデータが必要なければ削除してください。



以上で発注が終了しました。

発注画面から発注書が印刷可能です。

数量を変更する場合は発注訂正画面で訂正を行ってください。

仕入先をマスタにした場合、仕入先ごとにまとめて発注されます。

1伝票で200商品までしか発注できないので、同じ仕入先で200商品以上ある場合は自動で伝票が分かれます。

発注した商品を仕入する場合は、取り込みが出来ないので仕入画面で発注番号を呼び出して仕入を行ってください。